

特定非営利活動法人

ほしのくま

発行：NPO法人星のくま
 住所：雲仙市愛野町乙2336-1
 TEL：0957-36-7575
 FAX：0957-36-7576
 URL：hoshinokuma.com
 発行責任者：磯田 正也

ほのぼのとしあわせになろう
 のんびりとくじけるな まけるな!



「人が育ち育てあう職場環境を目指して」
 ～法人内研修の構築化と活性化を通じて～

「特定非営利活動法人 星のくま」も開設五年目を迎え、小さいながらも三事業所で七事業を実施するまでになりました。しかし、今後も法人の成長や利用者様への更なる支援力向上を考えると、人材の確保及び定着については充実出来て来つつあるも、「人材の育成」は近々の課題であり、主体的に取り組んで行きたいと思っております。

人材の育成で今年度は、幹部職員（係長以上管理者含む六名）には法人アドバイザーを中心、経営戦略を立案する方法として組織の外部、内部の環境を分析する、SWOT分析・中長期経営計画（現状から、ありたい姿に到達するための道筋）を毎月座学研修し、分析、解析、計画作成に取り組み、法人の発展に繋がる様に数値目標を明確にする事と、部下の育成も幹部職員の仕事であり、現場の職員一人ひとりの、やる気を引き出し、やる気を支援し、やる気が持続出来る様に「部下の育て方」、今ある人材資源を有効に活用し、最大限の効果を得られ、同時に部下と共に育つ研修を行います。

現場職員には、日本科学技術連盟QC専任講師を月一回招聘し、「福祉QC活動」を行います。福祉QC（Quality Control）活動は、品質管理や業務改善の為の手法で福祉に取り入れたものです。なぜ？QC活動なのか？ヒヤリ・ハット等が発生した時に、上長からの口頭での指導や指示だけでなく、現状の問題・課題を数値化し、個人やグループにて解析や対策を講ずることで、その問題や課題をPDCAすなわち、P（計画）、D（実施）、C（確認）、A（標準化とモニタリング）のサイクルに沿いながら能動的な活動と目標を持った活動をして行く為に取り入れられました。この様に、「幹部・現場」職員の育成を行い、少しでも利用者様への支援力向上が図られる様にと強く願っています。

良い組織風土を構築する為には、共通の価値観を持ち、高い目標を常に念頭に置いた行動が求められます。

NPO法人 星のくま

理事長 磯田正也

今年度より、3名の方が島鉄バスを利用して星のくまへ通所されています。

これは、社会生活の向上と自立を目的としており、地元の方とのコミュニケーションや公共交通機関を使用できるという自信につながっています。それに伴い、交通費を通勤手当として支給しています。



ある朝の様子

公共交通機関を利用して通所

就労移行支援事業 職場見学を実施

長崎の銘菓「クルス」を製造されていて、当法人でも箱折り作業を行なっています。工場長よりお菓子ができるまでの工程を映像を交えながらご説明頂き、詳しく知る事ができました。



就労移行生の感想

- ・クルスの賞味期限は試験場に出されて検査を行い決められていることを初めて知りました。
- ・様々な機械が作動していてカッコ良かったです。



小浜食糧株式会社様

ワークセンターあいの

スポーツで熱く！楽しく！汗を流しました！！

今年は5月に「島原半島運動会」と「ゆうあいスポーツ大会」に参加しました。

他事業所の皆さんと一致団結して様々な種目に挑まれ「島原半島運動会」では見事優勝することもできました！

初夏の白熱した勝負に皆さん大いに体を動かして楽しませていました。

島原半島運動会

ゆうあいスポーツ大会



エリンギを栽培し、加工から販売までを行ってられます。実際に作業風景を見学しながら、流れの説明などを聞くことができました。皆さんとても熱心に見学されていました。



就労移行生の感想

- ・工場の中は機械の音がとてもすごかったです。
- ・エリンギをパッケージに詰めて、シール付けから出荷するまでの工程が大変だと思いました。



雲仙きのこ本舗千々石センター様

「工賃にみる代表値について（第一回）」

私たちは利用者の皆さんの経済的自立のために、工賃水準の引き上げに向けた就労継続支援事業に取り組んでいます。この事業は、通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業のことを言います。データ群の特徴をひとつの数値で表したものを代表値と呼びます。

代表値の中でも「平均値」「中央値」「最頻値」が有名ですが、私たちの事業所の工賃額が他と比較してどこに位置するのか、代表値の違いについて何回かに分けて説明していきます。

就労継続支援事業には、雇用契約を結び利用する「A型」と、雇用契約を結ばないで利用する「B型」の二種類があります。私たちの「星のくま」では、ワークセンターあいのにおいて、「B型」事業を実施しています。

障がいのある方が地域で自立した生活を送るためには、一定の収入を得る必要があります。一般就労への移行支援とともに、就労継続支援B型事業所など、福祉的就労の場で障がい者に支払われる工賃水準を引き上げることが重要です。県においても三本の柱により事業推進を図っています。

- ① 施設の生産能力と品質向上への支援
- ② 消費者や企業へのPR
- ③ 授産商品やサービスの販売促進

県内の平成二十八年度における就労継続支援B型の平均工賃は月額15,919円となっております。私たちの事業所はそれを下回っています。利用者の皆さんが自立した生活を送るためには安定した収入の確保と各種保険の適用で、安心して職場で訓練を受ける環境づくりをしなければなりません。

NPO法人星のくま
アドバイザー 菅崎康範

ケアステーションあいの

箱折り作業

利用者さんの

意気込み!

生活介護の人達だけでして
いかなければならないので、
積極的にやれる事を増やし、
協力して頑張っています。
田口貴幸さん



六月より「星のくまアトリエ」の隣で小浜食糧株式会社様の「グルス」の箱折り作業を開始しました。以前よりワークセンターあいののB型事業へ交流として作業を行なっておりましたが、生活介護の方でも折ることが出来る種類を請け負い、「仕切り↓組み立て↓箱詰め」までの一連の流れを自分たちで行っています。何でも自分たちですることに、「しっかりとしないとイケない」という責任感に加え、折った箱がだんだん増え、工賃もアップする事で達成感や充実感があります。



とにかく頑張ります!
山本一予さん

出来なかった事が出来るようになって嬉しいです。段々とたくさん折れるようになっていきます。寺田京子さん



折る事の出来る種類を増やしたいです。仲間で協力していきたいです。
木原裕子さん



七夕～願いよ届け～

レクリエーションを兼ねて七夕会を行いました。

由来を話した後、皆さんの願いを短冊に込め、笹に飾り付けをしました。

その後、昼食のデザートを作りました。皆さん美味しそうに頂かれ、おやつにはまんじゅうと大満足の日でした。



しょうぶ見学

今年も大村公園へ菖蒲見学に行ってお参りました!

天気にも恵まれ、風も気持ち良い中でお弁当を食べ、各々散策しました。その後は紫色や白色のキレイな菖蒲を眺めながら、アイスクリームやジュースを頂きました。皆さんとても楽しまれており、またひとつ良い思い出ができました。



アキ 創作 壁画作品

4月



5月



6月



7月



毎月鏡造り制作中!

個別学習支援～子ども達に寄り添いながら～



学ぶ「目的」や「内容」「方法」は子ども一人ひとり異なります。興味・関心を引き出すことで学習意欲を向上させ、子ども達が描く将来像に近づけていければと考えております。

子ども一人ひとりのニーズに合わせて、向き合い・寄り添いながら「学習」を楽しい活動にしていきたいと思ひます。



キッズステーションあいの

七夕～私の想いよ届け～

彦星様と織姫様が出会う事を邪魔しているかのように梅雨が続いた日、子ども達は毎年恒例の七夕飾りを行いました。願い事を短冊に書き、その願いが叶うように想いを込めて笹に飾り付けをしています。子ども達の短冊は、欲しい物を書いていたり、家族とお出かけしたい！など可愛らしいホッコリするような内容でした。

昨年大好評だった『3色だんご』を今年も作りました。丸める事がとても上手で、お店で売ってあるかのようなキレイで美味しい出来となり、子ども達も満足気にされていました。



まん丸きれいな3色だんごが完成!

おいしいね!



願い事届くかな

慣れない環境の中、大人の方々と一緒に創作活動や掃除などの環境整備を頑張られていました。豊さんの笑顔に大人の方々も癒されておられました。



島原特別支援学校(高等学校部)二年の谷崎豊さんがケアステーションあいのにて一週間の実習を行いました。

実習お疲れ様でした

キッズステーションあいの お店屋さんごっこ

3時のおやつにみんなで選んだお菓자에値段をつけて、『お店屋さんごっこ』をしました。本物のお金を使って、楽しむだけではなくお釣りの計算や買い物の仕方を学びました!



夏休み行事予定

- 7月そうめん流し
- マスクプレイミュージカル(低学年)
- がまだすドーム見学(高学年)
- 8月映画外出
- 段ボール遊園地(低学年)
- ボウリング(高学年)
- ※毎週:プール(高学年)水遊び(低学年)

男性グループ



女性グループは、洗濯物の干し方や居室の掃除などを行い、昼食にサンドイッチやパスタとちょっとカフェ気分を味わいながらの一日となりました。

男性グループは、ピザ作りを行いました。男らしいダイナミックなピザが出来上がりました！



女性グループ

グループホーム星のくま1号館

希望する生活を...

グループホーム星のくま1号館には現在七名の入居者の方がいらっしゃいます。日中は一般就職をされている方、就労継続支援B型事業所や生活介護事業所を利用など皆さんそれぞれに違います。また、男女が生活を共にしているという事もあり、普段話にくいことや一緒にはやりにくいことなどができるように月に一度、男女に分かれ活動を行っています。

今夜は焼き肉！ たくさんのお肉を皆で食べれて大満足！！ 来年は野外でバーベキューができますように☆



今夜は焼き肉！

★こんばんわ！おじゃまします★



普段は皆さん一緒。自然に集まります！

俺の部屋です！



今回、普段はなかなか見ることができない入居者の皆さんの夜の過ごし方を拝見しました！ 皆さん、どう過ごしているのでしょうか。

★New face★

6月より新しく2名の職員が入りました。よろしくお願ひします。



高橋 亮子



上田 真知子



就寝前の歯磨きは入念に磨いてますよー

夜は音楽鑑賞。お小遣いでCD購入！

離れて生活する家族へメールで連絡中



誕生日会

HAPPY BIRTHDAY

美味しそうなパフェ！ 毎月、おやつは変わります。

星のくまでは毎月、利用者の皆さまの誕生日会を開催しています。誕生月の方へ一言添えたバースデーカードを渡し、皆で歌をうたって祝います。季節に合わせた『手作りおやつ』もあり、皆さまの月に一度の楽しみな行事の一つになっています。またゲームやカラオケ等でさらに大盛り上がりです。



BBQ大会

お肉の他にも、おにぎりや焼きそばなどたくさん料理があり、大満足の日となりました。



おめでとうございます！

まだまだ楽しみ盛りだくさん！ 星のくま 号外ページ！

星のくま アトリエ

OPEN : 10:00 ~ 15:00



おしゃべりな空間でも気軽に！

『星のくまアトリエ』では、手作り雑貨の販売や芸術作品の展示を利用者様のみに限定せず、地域の皆様にも参加していただき、「雲仙市」の発信拠点になればと考えております。また、販売商品に関しては、

六月一日(木)やさしい村様横に『星のくまアトリエ』をオープンしました。沢山の方々の支えがあり当法人も五年目を迎えることが出来ました。その節目の年に利用者様の日々の頑張りを発信できる場所と共に地域共生を目指した場所をオープンできることをとても嬉しく思います。



全て「手作り」にこだわること、世界にひとつしかない商品を提供しています。今後は喫茶などを取り入れて来て下さるお客様が寛げる空間作りを進めております。

利用者様や地域の皆様のご思いが詰まった『星のくまアトリエ』へ是非足を運んでいただけたら幸いです。



商品作成風景～お客様に喜んでもらえる商品～

「世界にひとつだけのもの」をテーマに利用者様がひとつひとつ手作りにて商品作成を行っています。

『星のくまアトリエ』へ来ていただいたお客様のニーズに答えられる商品を利用者様と職員が一緒に考え制作を行っています。お客様が笑顔で買っていく姿を想像しながら少し難しい作業にも頑張ってお取り組んでいる利用者様の姿を見ると一つでも沢山の方々に商品を見ていただけたらと思います。



カーミスタカミー



『星のくまアトリエ』を開店するために、利用者様が販売品の準備をしたり、店舗の改装を行ったりと一生懸命取り組んできました。

オープニングセレモニーは、その頑張ってきた皆さんの想いが報われた式でもあります。利用者様の想いが形となったことで、これからの活動意欲も上がり、今では沢山の販売作品作成に日々励んでおられます。

式では、利用者代表の井上靖代さんがあいさつを行い、皆さんでテーブルカットを行いました。

琴ちゃんのつるさん



援学校(高等部)

に通う田浦琴乃さんは、当法人のキッズステーションあいのを利用されています。優しさ溢れる彼女は、折り紙を折ることが得意でその中でも「鶴」を折ることが好きです。『星のくまアトリエ』では、その一羽一羽に想いが込められた作品を展示しています。

好きな事に夢中になること、忙しい現代社会の中で忘れてはいないでしょうか。

この作品は、琴乃さん一人だけではなく、ひとつひとつをつなぎ合わせ、琴乃さんの「好き」を形にされたお母さんの想いも込められています。作品には様々なストーリーがあり、そのストーリーを知ることによって作品の見方も変わってくると思います。



好きな事に夢中になれることを『星のくまアトリエ』では応援していきたいです。



昨年開催された「オール・ブリュット・フェスティバル2016」に当法人も初めて参加させていただき、「芸術」の素晴らしさを感じることができました。人にはそれぞれ考え方が違うように芸術にも様々なカタチがあり、その人が持つ個性を表す作品を多数展示しております。

星のくまから地域共生の実現に向けて

地域共生社会の実現に向けて厚生労働省は「人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもとに作っていく社会」と定義している。

人と人が手を取り合い、支え合い、生きがいのある社会へ

届けられたものかもしれない。そう考えると、健常者と障がい者は身近な存在であり、その事に気づいてないだけではないだろうか。「笑う門には福来る」ということわざがあるように、地域で「健常者」と「障がい者」の枠組みを無くし、人と人が手を取り合い、たくさん笑顔が集まる地域の拠り所に『星のくまアトリエ』がなることを願う。

(吉田 健人)



ようこそ！星のくまへ ～ソウル市障害者福祉館協会様～



平成二十九年六月七日、韓国より、「ソウル市障害者福祉館協会」の皆様が見学にいらっしやいました。

今回、「ソウル市障害者福祉館協会」の皆様は、長崎県内の障がい福祉事業所や雲仙市役所などを訪問され、国は違えど、同じ障がい福祉に携わる者として、各所での研修や様々な情報交換を目的に来日されたとのこと。

星のくまには初日に訪問され、事業所見学後の説明会では、当法人の支援体制や日本の障がい福祉サービスの利用方法や報酬単価などを熱心に学ばれました。



ムン・ヨンス様と...



皆様、熱心に学ばれています

グローバル化という言葉が身近になって久しい昨今ですが、韓国の皆様方と直接触れ合い、始めて気付けることもあり、星のくまにとっても貴重なひと時となりました。

熱いこころで最善の支援を行うために…

あなたの人生の目標はなんですか？

組織の中で出世すること、独立して自分で経営すること、自分の店を持つこと、結婚して家庭を築くこと、人によって様々な目標があると思います。その目標はどれも達成させるまでの道程は長く、困難にぶつかかることも多い険しい道だと思いません。時に目標が霞んでしまい、あきらめかけてしまうこともあるでしょう。そんな時、失敗を恐れず、焦らず着実にステップを踏んでいくこと、さらには先輩の意見を聞いたりすることにより未来のビジョンが再現できるのです。

私たちは星のくまの職員としての自覚と福祉施設従事者の意義と使命感の中で福祉事業推進の原動力として取り組んでいます。皆様から選んでいただける事業所とするため、高い志と誇りを持ち推進する必要があります。職員の皆さんは「人材」ではなく、「人財」としてともに教育・訓練を受け、組織を担う人財づくりに取り組んでいます。

厳しい経営環境の中においても、成長を続けている法人も多く存在します。いずれの成長法人にも共通している点は、「良い人財」が集まっている法人は、「良い組織風土」が築かれています。

出光興産の創業者である出光佐三氏は、「我が社の資本はカネでなく、人間だ。カネは資本の一部だ。いちばん大切なのは人。人が第一であって、人が事業をつくり、事業がカネをつくる。カネは人についてくる」といっています。

～法人内研修～

虐待防止研修



6月22日、28日に「虐待防止研修」を実施しました。昨年に引き続き、長崎介護実践研究所代表の金松敏信先生をお迎えし、「利用者様の人権を尊重した正しいケアのあり方」というテーマで研修を行って頂きました。

虐待を未然に防ぐために日々の業務の中で職員自らの言動に対する「気づき」が大切であることを学び、また、金松先生は「個々の能力の如何にかかわらず誠実にしっかり生きる努力をしている人は、その積み重ねが5年後、10年後に自ずと成果に現れる」とお話下さいました。職場だけでなく、日々の生活の中でも心を込め、誠実に過ごすことが虐待防止の根幹にあることを再確認できた研修となりました。

福祉QC勉強会



今年度より、サービスの質の向上のために日本科学技術連盟QC専任講師の西田良夫先生を毎月お招きして福祉QC勉強会を開催しています。この勉強会では、QCの手法を学びながらQC的ものの考え方を身につけることを目的に、12月の発表会に向けて2サークルが取り組んでいます。

介護技術研修



今年度は年間を通して、合同会社まざーりーふ代表の山本朕榮先生をお迎えし、基本的な介護技術を学ぶための研修を開催しております。職員自らが介助する側、される側を体験しながら実践形式で学びます。利用者様の目線に立つことで日々の支援方法のあり方を再確認し、一人ひとりに合った支援方法へつなげ、より良いサービスの提供ができればと思っています。

★今後の予定★

- 8月14・15日 休業日
- 22日 そうめん流し (ケアステーションあいの)
- 23日 // (ワークセンターあいの)

※詳しい内容については後日お知らせ致します。



星のくまの”旬な話題”をお届け中!



梅雨の晴れ間に…

ひまわり畑にて



編集後記

蝉しづれが賑やかに降り注ぐ季節となりました。今号には六月に開店しました『星のくまアトリエ』の情報を掲載しております。日々の利用者様の活動の様子はもちろん、今後も地域の皆様と共に発展していけるよう、頑張りますのでご支援のほど、よろしくお願ひします。

(星のくま 広報部)